

minish

スープメーカー DSM-138

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意 P. 2～3
各部の名称とはたらき P. 4
正しい使いかた P. 5～7
お手入れと保存 P. 8～9
修理・サービスを依頼する前に P.10～11
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙



仕 様

型 名	DSM-138
電 源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	500W (ヒーター使用時)
調理容量	約 0.8L (最大) / 約 0.5L (最少)
外形寸法	約 幅 190 × 奥行き 150 × 高さ 260mm (置台のぞく)
質 量	約 1.7kg (置台のぞく)
電源コード長さ	約 1.3 m
安全装置	吹きこぼれ防止センサー、水位センサー、ポット脱着センサー
付属品	洗浄ブラシ× 1、レシピ集× 1、取扱説明書・保証書 × 1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	㊄は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、㊄の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

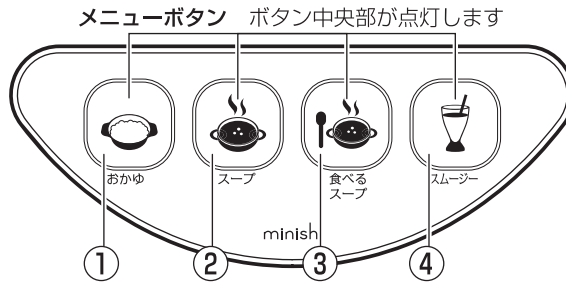
 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 感電や火災の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 また、電源プラグの抜き差しで運転の開始・停止を行わない。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 感電や発熱・火災の原因になります。		配線器具の定格を超える使いかた、複数の配線を接続したタコ足配線で使用しない。 コンセント部が異常発熱して発火するおそれがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。		使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 故障や火災や故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		 プラグを抜く お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	不安定な場所や傾いた場所、高い場所、子供やペットの走り回る場所には置かない、使わない。 転倒して外部に調理物がこぼれるだけでなく、感電、故障・火災・やけどの原因になります。	 水ぬれ禁止 本体上部を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 水洗いしない ショート・感電の原因になります。	

⚠ 注意

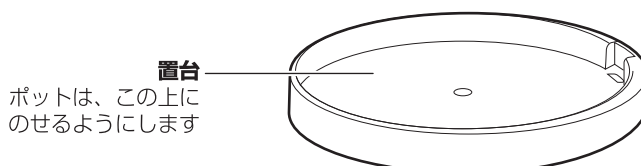
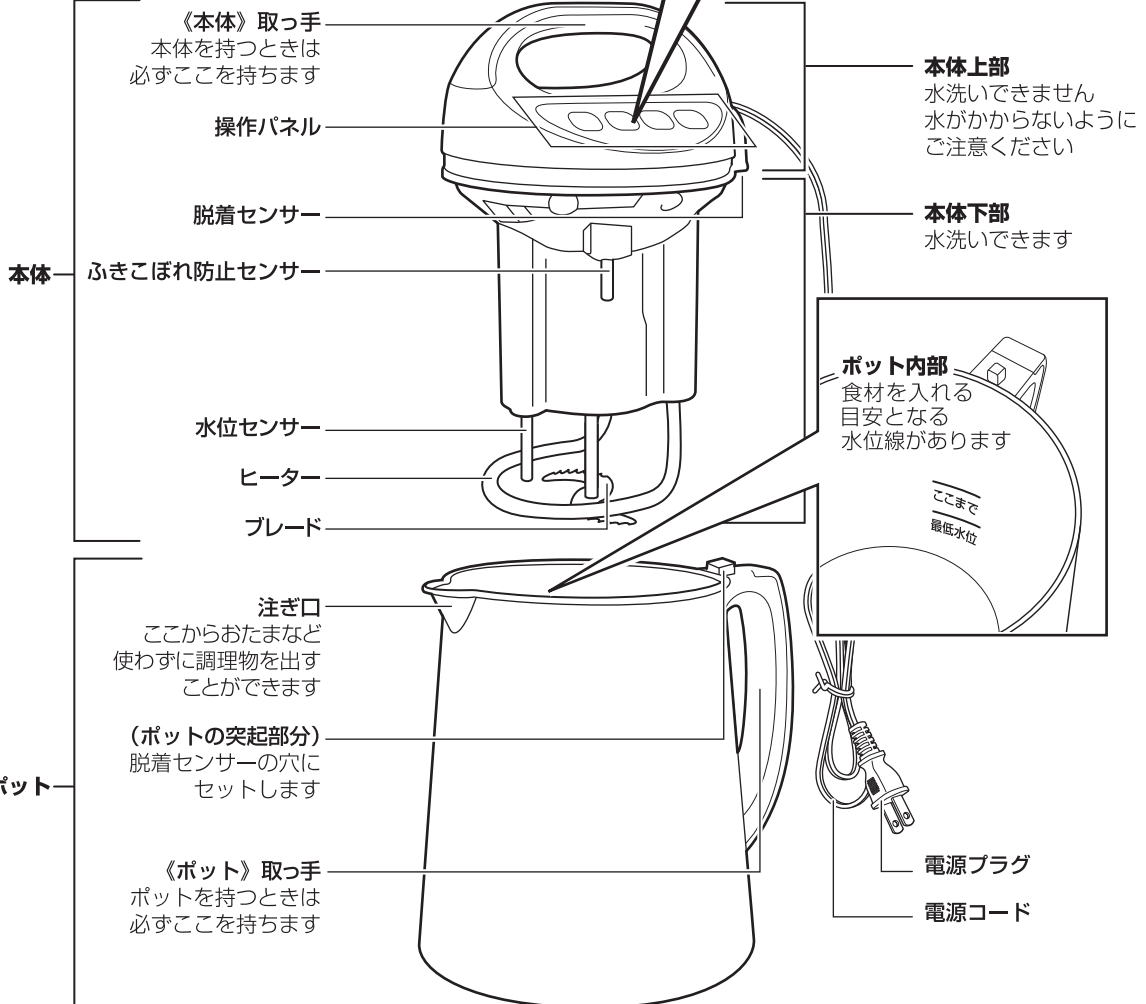
 接触禁止	<p>ブレードには直接触れない。 けがの原因となります。</p>		<p>調理したものを入れたままにしない。 調理が終わり次第、すみやかに他の器に移してください。さびたり、こびりつきや汚れの原因になります。</p>
 禁止	<p>加熱調理をしたあと、続けて加熱調理を行なわない。 再加熱により、こげや発火の原因となります。</p>	 禁止	<p>食材以外をポットに入れない。 けが・故障の原因になります。</p>
	<p>直射日光が当たる場所、火や熱源の近くでは使用しない。 変形、故障の原因になります。</p>		<p>ポットに直接糖類を入れて加熱調理しない。 ポット、ブレード、ヒーター、水位センサーなどのこげつきの原因となります。</p>
	<p>変形や破損のあるときは、使用しない 火災や感電、やけどの原因になります。</p>		<p>加熱調理中、加熱調理終了後しばらくは、ポットに触れない。 やけどの原因になります。</p>
	<p>電源コードが引っ張られた状態で使用しない。 断線などをおこし、火災や感電、やけどの原因になります。</p>	 指示	<p>お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>電源コードを束ねたまま使用しない。 火災の原因になります。</p>		<p>電源プラグ・電源コネクターを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグ・電源コネクターをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。</p>
<p>業務用に使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 家庭用として設計されているため、業務用としては使用しない。</p>	<p>必ず取っ手を使って持ち運ぶ。 取っ手を使うと、安全に安定して持ち運ぶことができます。</p>		
			<p>食材は葉もの3cm幅、固形物1.5cm角以下にする。 これより大きいと十分な調理ができず、ふきこぼれや大きな音の発生の原因になります</p>

各部の名称とはたらき

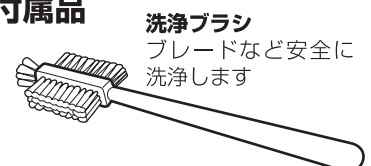
操作パネル



- ① おかゆボタン
- ② スープボタン
- ③ 食べるスープボタン
- ④ スムージーボタン



付属品



正しい使いかた

※ ブレードにセットしているブレードカバーをはずしてから使用してください。

その際、指をけがさないよう、ブレードに直接触れないでください。

※ お買い上げ後、初めて使用するときは、ポット・本体下部とも十分に洗ってから使用してください。(お手入れと保存 8～9 ページ)

使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。

「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」を調理するときは、熱を発生するため、熱に強い素材でできたものの上に設置してください。

・必ず置台を使用し、ポットの取っ手を持って移動させてください。

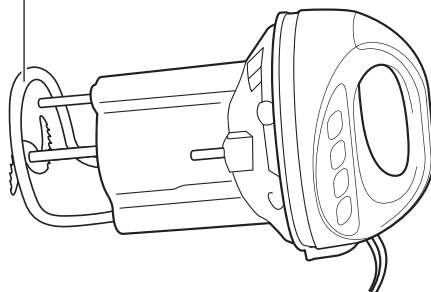


警告

- ・テーブルや机以外の場所では使用しない。
- ・子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない。
- ・ポットに本体をセットするまでは電源プラグをコンセントに差し込まない。

ブレードカバー

ヒーターの曲線部を上にして置く



2. ポットから本体を取りはずす

片手でポットを押さえ、もう片方の手で本体を垂直に引き出して取りはずします。

・取りはずした本体はブレードに十分注意して右図のようにヒーター部が地に着くように置いてください。

3. ポットに食材を入れる

ポットに食材を入れてください。固形物が多いときは、本体をセットしやすいように入れます。

・葉ものは 3cm 幅以下・固形物は 1.5cm 角以下に切ります。

・液体と固体の量は、ポット内部にある水位線を見て、「最低水位」線以上、「ここまで」線以下の量を入れるようにしてください。

調理しにくい材料

以下の材料は、ヒーターやブレードにからまったりして、調理を中断させてしまいます。異常振動や飛び出したりすることがあります。本製品と別に調理して最後に一緒にするなど工夫が必要です。

- ・キムチなどのつけもの
- ・長いままのワカメなど
- ・コンニャクなど弾力のあるもの
- ・ブロックのままの肉類、ベーコンなど

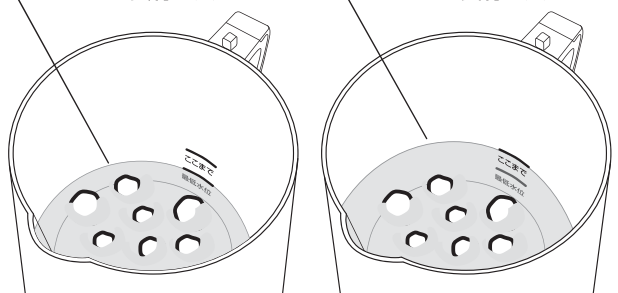


注意

食材を入れるときは、必ず「最低水位」線以上、「ここまで」線以下の量にする。
食材の量が多すぎると食材がポットから飛び出し、やけどや事故の原因になります。少なすぎると十分な動作がされません。

最低水位 より多く食材を入れる

ここまで 超えないように食材を入れる



4. ポットに本体をセットする

ポットの突起部分に本体の脱着センサーを、すき間がないようにセットしてください。

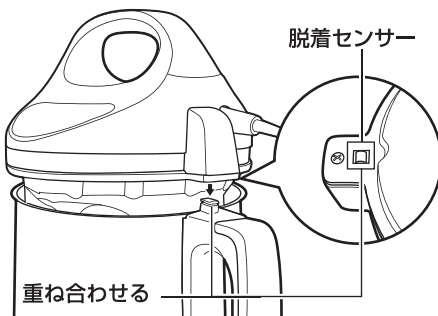
・ポットの突起部分に本体の脱着センサー部分をセットしないと、安全装置がはたらき、動作が開始しません。

・固形物が多くセットしにくいときは、食材の配置や内容量を減らしたり、食材の大きさを小さくすることで調整します。

・食材を入れてポットに本体がセットできないときは、本体を左右に動かしながら押し込んでセットしてください。

脱着センサー

重ね合わせる



正しい使いかた（つづき）

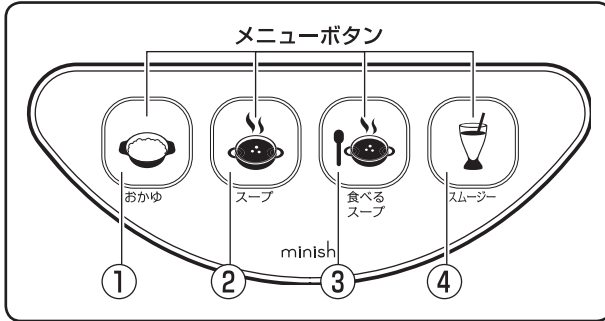
調理のしかた

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- ピッとブザー音がして、操作パネル上のメニューボタンが点滅を始めます。
- ブザー音が鳴り止まないときは、本体の水位センサーが反応しています。ポットの食材が「最低水位」線より多くなるように、また「ここまで」線を超えないよう、食材の入れかたを工夫してみてください。



- 電源コードを束ねたまま使用しない。電源コードの発熱、発火の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。



2. ボタンを押して調理を開始する

作りたいメニューに合ったボタンを押すとピッとブザー音がして押したボタンのメニューランプが点灯し、調理が開始されます（もう一度同じボタンを長押しすると調理がキャンセルされます）。

- 調理開始時に調理内容によって、本体が飛び出たりすることもあるので、十分に注意してください。「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」は調理内容によってそれぞれ加熱、かかはんを繰り返します。
- 「スムージー」は7回かかはんします。
- かかはんのときは大きな音がします。
- 動作中はメニューによってカチカチと音がします。



- 「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」は調理後に再度メニューボタンを押さない。再加熱でこげや発煙、発火の原因となります。

調理内容

ボタン	調理運転	調理内容	かかはん程度	目安
① おかゆ	加熱・かかはん	おかゆをつくります	少	約35分
② スープ	加熱・かかはん	固形物を細かくかかはんします	中	約25分
③ 食べるスープ	加熱・かかはん	固形物が細かくなならない程度にかかはんします	少	約25分
④ スムージー	かかはんのみ	温める必要のないものを適度にかかはんします	多	7回かかはん

※①「おかゆ」、②「スープ」、③「食べるスープ」は調理内容によってそれぞれ加熱、かかはんを繰り返します。調理する内容物、動作させる環境により調理時間が変化します。④「スムージー」は7回かかはんします。

④ スムージーボタンを押すときには、本体を上から押さえてスタートさせてください

食材を入れてポットに本体がセットできないときは、本体を左右に動かしなが押し込んでセットしてください。

1. 上から押さえる



2. スムージーボタンを押す



左右に動かしなが押し込む

⚠️ 注意

- 調理するとき大きな音がするので環境に気をつける。
素材や環境にもよりますが、調理するときには大きな音がしますので、まわりに十分配慮してください。
- Ⓞおかゆ、Ⓜスープ、Ⓜ食べるスープ ボタン (加熱調理ボタン)を押したとき
- 調理中・調理直後、ポットの注ぎ口からもれ出る蒸気に注意する。
やけどの原因になります
- 調理中・調理直後、ポットは熱くなっているので、取っ手以外は触れない。

3. 調理が終了すると、ブザー音が鳴り、メニューランプが点滅する

スムージーがうまくできないときは、

- ① 一度プラグをコンセントから抜く
- ② ポット内の食材の配置などを工夫する
- ③ 再度電源プラグを差し込む
- ④ ピッとブザー音がして操作パネル上のメニューランプが点滅したのを確認する
- ⑤ Ⓞスムージーボタンを押し再運転させる

⚠️ 注意

「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」は調理後に再度メニューボタンを押さない。
再加熱でこげや発煙、発火の原因となります。

4. 電源プラグをコンセントから抜く

5. 本体を取りはずし、できあがった調理物を器に移す

⚠️ 警告

調理したものを取り出すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

本体を取りはずして、調理したものを器に移します。

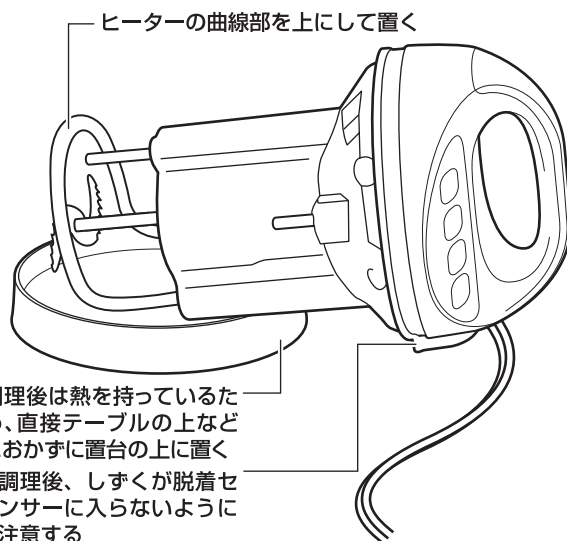
- 調理終了後、調理したものは、注ぎ口から、またはおたまなどを使って、すべて器に移します。
- ※ Ⓞおかゆ、Ⓜスープ、Ⓜ食べるスープボタンで調理したときは、調理後の本体とポットは大変熱くなっていますので、十分に気をつけてミトンなどを使ってください。
- 連続して調理するときには30分以上、間隔をあけてから調理をしてください。

⚠️ 注意

「おかゆ」、「スープ」、「食べるスープ」は調理後に再度メニューボタンを押さない。
再加熱でこげや発煙、発火の原因となります。
できあがった調理物をあたためなおす際に、ポットをIHヒーターやガスコンロなどで直接加熱しない。
変色・変形の原因となります。

調理中に発生する現象と対応のしかた

- 本体が上に押し上げられて停止する。
食材が大きい、もしくは食材が多い可能性があります。大きさを量を適正なものに調整してください。
- ブザー音がピーピー鳴り止まない。
食材が最低水位より少ないか、「ここまで」水位を超えているときも鳴ります。食材によっては最低水位よりも多く入れていても反応することがあります。食材を多くするか、食材の入れかた、水分の追加などを工夫してみてください。



正しい使いかた（つづき）



- 続けて調理をするときは、30分以上間隔をあける。
モーター部分が熱を持つため、冷却する時間が必要です。連続運転すると故障する原因になります。
- 調理終了後、調理したものは、すみやかにすべて器に移してお手入れをする。
そのままにしておくと、さびたり、こびりつきや汚れの原因になります。
- 本体のヒーター・ブレードを下にして立てて置いたりしない。
- 調理終了後のお手入れは、熱に十分気をつける。

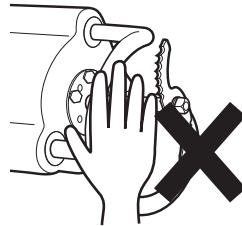
お手入れと保存



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ポット・本体が冷めたことを確認する。
感電やけが、やけどの原因になります。
お手入れの際に、本体を落としたり、不安定な場所に置かないでください。
本体故障の原因となります。

注意

- スープ・食べるスープ・おかゆの調理後はヒーターが熱くなっており大変危険です。
※ やけどの危険がありますので、直接触れないでください。



お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属たわしなどは絶対に使わないでください。
- 本体上部に水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）
- ブレードの扱いには十分気をつけてください。
- 使用後はポット・本体が冷めたことを確認してからすぐにお手入れをしてください。材料の色素が付着したり、汚れが乾いてしまうと、固まって取れにくくなります。

1. 本体をポットからはずす

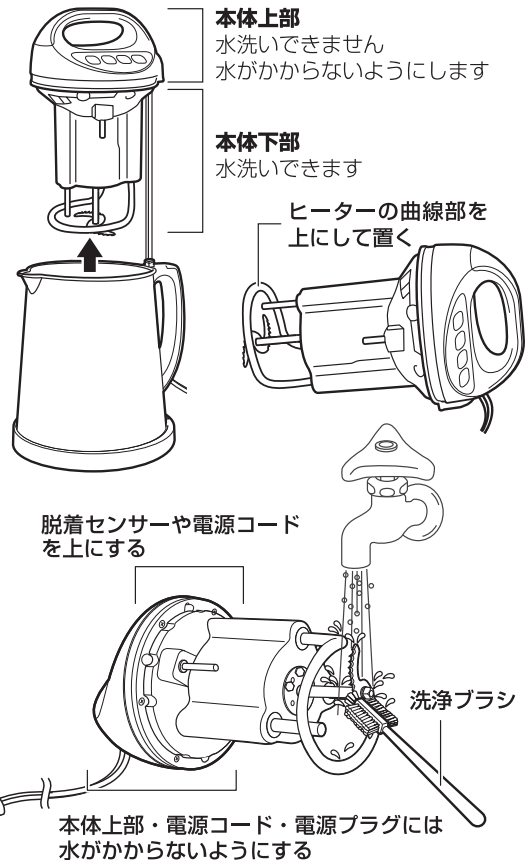
片手でポットを押さえ、もう片方の手で本体を垂直に引き出して取りはずします。

※ 取りはずした本体はブレードに十分注意してヒーター部が地に着くように置いてください。

2. 本体下部・置台をお手入れする

付属の洗浄ブラシやお手持ちのスポンジなどを使って、ていねいに掃除してください。

- 通常、水またはお湯で掃除できますが、調理したものによっては中性洗剤を薄めたものを使って掃除してください。
- 汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を薄めたものに10分程度（本体の外部に水分がかからないよう注意して）浸してから掃除すると効果的です。



ヒーターまわりのお手入れ

- 洗浄が不十分で、次回使用時に食材がヒーターについたままですと、こげつきの原因となりますので十分に洗浄をしてください。
- 正しくお使いになっても、多少のこげや変色は発生します。市販のメラミンスポンジなどでこすり落としてください。そのときブレードに手が直接触れないように、十分注意してください。

⚠️ 注意

- 本体上部・電源コード・電源プラグに水がかからないように注意する。故障の原因となります。
- ブレードには直接触れない。扱いには十分注意する。直接触れると、けがの原因になります。また固いものにぶつかけたりすると、切れにくくなり、調理に影響します。ブレードのお手入れには、付属の洗浄ブラシを使ってください。

3. 同様にポットもお手入れする

本体下部と同じようにポットも掃除してください。

磨き粉、金属たわしなどは、内部にキズをつけますので使わないでください。

4. 本体上部をお手入れする

ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。

- 強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。
- 樹脂部ににんじんや葉菜類などの色素がつくことがあります。完全にとれないことがありますが使用上問題ありません。

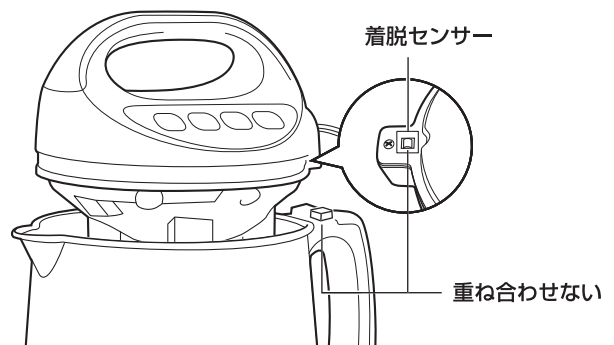
※電源コード付近を水にぬらさないでください。感電・故障の原因になります。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- ポットに本体をのせて収納するときはポットの突起部分を脱着センサーの穴に重ね合わせない状態で保存してください。

廃棄のしかた



廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従って適切に処分してください（家電リサイクル対象外です）。



修理・サービスを依頼する前に

⚠ 警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
準備		
本体をポットに取り付けることができない	・ 食材の量が多い	ポット内部の「ここまで」線を超えないように調節する
	・ 食材の大きさが大きい	食材は葉もの3cm幅、固形物1.5cm角よりも小さく切って入れる
電源が入らない	・ 電源プラグがコンセントに差し込まれていない、または不完全	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	・ 長時間連続で使い続けている	安全装置がはたらいているため、電源プラグをコンセントからはずし、ポットから本体を離し、30分以上おいてから使用してみる
	・ 脱着センサーがはずれている	本体の脱着センサー部分とポットの突起部分をきちんとセットする
ブザー音が鳴り止まない	・ ポットの食材の量が少ない	「最低水位」線以上になるように食材を増やす
	・ ポットの食材の量が多い	「ここまで」線を超えないように食材を減らす
	・ 食材が固形物が多くて、水位センサーが反応してしまっている	水位センサーが反応しないように、液体の量を増やすなど、食材の入れかたを調節してみる
調理中		
かくはんの動きがしない	・ 調理しにくい材料を入れている	調理しにくい材料は別に調理して本製品では調理しない
かくはんの動きにあわせて注ぎ口から水滴がもれ出る	・ 食材の量がここまで線を超えて入れている	食材の量をここまで線を超えない程度に減らす
温まらない	・  スムージーボタンを押した	他のボタンを押して調理する ( スムージーはヒーターが稼働せず、かくはん機能のみのモードです)
温まるのに時間がかかる	・ ヒーターが汚れている	ヒーターをお手入れする
ふきこぼれる	・ 食材の量が「ここまで」線を超えて入れている	食材の量を「ここまで」線を超えない程度に減らす
	・ あくが多く出る野菜を入れている	あくの多く出る野菜は、下ゆでしてから使用する
	・ ふきこぼれ防止センサーが汚れている	ふきこぼれ防止センサーをお手入れする
動作音がうるさい	・ 不安定なところで使用している	安定した水平なところで使用する
	・ 固い食材を使用している	下ごしらえをしてやわらかくしておく
	・ ブレードに食材がからまって切れが悪くなっている	からまっている食材をとりぞく
以前に調理したときよりも調理時間が長い／短い	・ 食材の種類や量、まわりの温度や水温の違いで時間は変化する	故障ではありません

症状	主な原因	処置
調理結果		
④ スムージーで葉が残る	・ 運転量が足りない	④ スムージーを再運転し、お好みのなめらかさになるまで繰り返す(④ スムージー以外は再運転しない)
ヒーターがこげる	・ 多少のこげは、通常の使用でも発生します	故障ではありません
	・ 牛乳など脂肪分の多いものを調理している	脂肪分の多いものを調理すると、こげが多く発生します
食材が大きすぎる	・ 固い食材（にんじんなど）を多く使用した	なるべく細かくカットしておくか、前もって電子レンジで加熱するなど、下ごしらえをしておく

長年ご使用のスーパーメーカーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・ こげ臭い匂いがする。
- ・ その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシャサービスセンターに点検をご相談ください。

ご注意

ご使用になる前に必ずお読みください。

① 具材の入れ方について

ポットに具材を入れる際は取扱説明書と付属のレシピを参考に

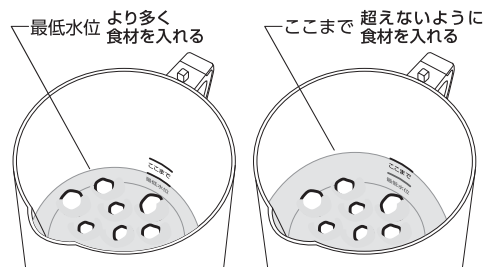
規定の容量(「最低水位線」以上・「ここまで線」以下)、具材の大きさ(葉ものは3cm幅以下・固形物は1.5cm以下)をまもって入れてください。

食材がうまく入らない場合は、具材を減らしたり更に細かく切ってください。

また、本体を左右に回しながら本体がポットにしっかりとハマるように動かしてください。

きちんと閉まらない状態では、電源が入りません。

また、「スープ」・「食べるスープ」・「おかゆ」モードは具材が多すぎると加熱調理時にヒーター部とポットに具材がはさまり、攪拌されず、粉碎できなかつたり、焦げ付きの原因となります。



② 再加熱は絶対に禁止です

本製品は温め直しはできません。

「スープ」・「食べるスープ」・「おかゆ」の調理が終了後に再度メニューボタンを押して再加熱をしたり、調理中に本体を持ち上げて中の調理状態を確認し、再度メニューボタンを押した場合も再加熱状態となり、「過度の焦げ付き」「発煙・発火」など故障の原因になりますので絶対にしないでください。調理中・調理後の食品が入った状態で再度「スープ」・「食べるスープ」・「おかゆ」ボタンを押して加熱をするとヒーター部の焦げ付きの原因となるので温め直しをしたい場合は一度鍋などに移してから温めなおしてください。*スムージーについては1回の調理でお好みの調理ができない場合、再調理運転ができます。

③ 焦げ付きについて

正常な使用状態でも多少の焦げ付きは発生いたしますが故障ではありません。

ヒーター部分が焦げ付いてしまったら、付属の洗浄ブラシや市販のメラミンスポンジ、ワイヤーたわし等を使用し焦げを落としてください。

その際はブレード部分に十分気を付けブレードに直接手を触れないようにしてください。

乳製品を使用したオリジナルメニューを作る際は付属のレシピを参考に牛乳や生クリームと水分の割合に十分注意し、乳製品と水分が1:3になるようにバランスを工夫してください。

乳製品が多い場合ヒーターに焦げ付きが発生します。

それ以上に乳製品を入れたい場合は、各調理モードの終了後に生クリームを加えるなどして味をととのえてください。

④ 色移りについて

色素の強い食材(トマト、ニンジン、ホウレンソウ、にら、カレー粉、しょうゆ、ソース等)を使用した場合は本体樹脂部分に色移りが生じますので、使用後はすぐに洗ってください。商品使用上問題はありません。

気になる場合はポットに水に溶かした酸素系漂白剤をここまで線まで入れて本体を浸け置きしてください。酸素系漂白剤の注意書きをお読みになりご使用してください。長時間の浸け置きは金属部分に錆びを生じさせますのでおやめください。浸け置き後は十分に流水ですすぎ、乾燥してください。また、塩素系漂白剤は錆の原因となりますので絶対にご使用にならないでください。